

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域協働で推進するイルミネーションによる町の活性化事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,787,565円 (うち支援金: 1,391,000円)

事業内容

下諏訪町では、諏訪湖の花火と連携した新たな夏の風物詩とすべく、平成27年度より夏季のイルミネーションを開催し、地域の活性化を図っている。

今年度はより多くの地域住民の参加を促すため、イルミネーションセミナーや個人・企業からの作品出展を行い、結果としてサマーイルミネーションと冬季の駅前イルミネーションの規模の拡大及び来場者の増加に繋がった。来場者の増加要因の一つとして、小学生LED工作講座に参加した児童が家族を呼んで鑑賞したり、イルミネーションセミナーや作品出展をした方が知人や取引先にイルミネーション事業の参加呼びかけを行うなど、参加者の自発的な活動が寄与したと考えられる。

【サマーイルミネーション: 7/20-9/2 赤砂崎公園】

- ・製作セミナー参加者 29人
- ・作品出展数 制作した人数 7作品 42人

【駅前イルミネーション: 7/20-9/2 駅前広場】

- ・製作ボランティア参加者数 31名

(開催風景および活動写真)



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 地域住民の参加
 - ・セミナー参加者数 102人 (製作・ボラ含む)
 - ・作品出展者数 15作品
 - ・来場者数 6,360人
 - ・小学生LED工作講座 190人
- ② 実施箇所
 - 2箇所 赤砂崎公園 駅前広場 (申請書2箇所)
- ③ 経済効果 1,159,000円

このイルミネーション事業を下諏訪温泉の事業者と上諏訪温泉旅館の事業者が諏訪湖の新しい楽しみ方として、宿泊客等に観覧を呼びかけ、来場者数の増加につながっています。

【目標・ねらい】

- ①町民全体を巻き込み協働でイベントをつくりあげることにより、新たな夏の賑わいを創出し地域活性化を図る。
- ②諏訪湖の新しい活用。

※自己評価【A】

【理由】

予定を上回る成果でかつ、参加者は来年度の継続参加を希望している。また参加者の中で組織形成を望む声があり、進めている状況である。今後の活動で行政と地域住民が進める諏訪湖の新しい活用方法に期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

イルミネーション事業に参加した方の呼びかけで、来年度に向けてより多くの方から参加の意向を申し出ていただいている状況であり、事業の規模の拡大が望める。参加者を中心に組織形成を進めており、参加者の得意分野に分けて、制作部会・イベント・運用などのワークショップを行い、企画段階から住民協働による事業を展開する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある